

乙 第 号

野口武俊 学位請求論文

## 審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙 第 号	氏 名	野口 武俊
論文審査担当者	委員長	教授 桐田 忠昭	
	委員	教授 伊藤 利洋	
	委員 (指導教員)	教授 小林 浩	

### 主論文

Vaginal fluid pH and buffer capacity for predicting false preterm labor in Japanese women

日本人女性における切迫早産予測のための膣分泌物 pH と膣分泌物緩衝能に関する研究

Taketoshi Noguchi, Toshiyuki Sado, Katsuhiko Naruse, Hiroshi Kobayashi

International Journal of Gynecology and Obstetrics 134: 69-74

2016 July 発行

## 論文審査の要旨

正常妊娠と思われていても5-10%の妊婦は早産し、その原因は細菌性膣症から上行性感染による絨毛膜羊膜炎に起因すると考えられている。いったん絨毛膜羊膜炎を起こしてしまうと不可逆的に進行し、早産を治療することは困難となるため、早産予知は臨床的に極めて重要である。しかし、現時点では早期に発見する優れたパラメータは存在しない。口腔内細菌叢により、唾液のpHが食事により容易に低下する（緩衝能が低い）患者は齲歯に罹患しやすいという関係が知られていることから、膣内細菌叢による膣分泌物緩衝能の有無が早産に関係するのではないかという仮説のもと、申請者は膣分泌物pHと膣分泌物緩衝能が早産予知のための有効な新規バイオマーカーとなりうるかどうかを検討した。237症例を対象とし研究を行った結果、対照群と比較して切迫早産群の膣分泌物pH値はより高値で、膣分泌物緩衝能はより低値であることを見出した。また膣分泌物pHと緩衝能ROCカーブによる検討から、切迫早産群と対照群を区別することができた一方、切迫早産群の中から実際に早産に至る患者と早産に至らない患者は区別することはできなかった。本研究の結果から、その診断基準を決めるには更なる研究が必要ではあるが、独創的な着想により膣分泌物pHと緩衝能は切迫早産を診断するのに有用なパラメーターである可能性を見出し、さらに既存の検査法と比較して簡便かつ安価な検査法であることを示した。本研究は、臨床応用に向けて非常に期待できる研究成果であり、学位授与に値するものと考えられる。

## 参 考 論 文

1. Chemokine and free fatty acid levels in insulin-resistant state of successful pregnancy: a preliminary observation.

Naruse K, Noguchi T, Sado T, Tsunemi T, Shigetomi H, Kanayama S, Akasaka J, Koike N, Oi H, Kobayashi H.  
Mediators Inflamm. 2012;2012:432575.

2. Inflammatory pattern recognition receptors and their ligands: factors contributing to the pathogenesis of preeclampsia.

Sado T, Naruse K, Noguchi T, Haruta S, Yoshida S, Tanase Y, Kitanaka T, Oi H, Kobayashi H.  
Inflamm Res. 2011 Jun;60(6):509-20.

3. Evidence for activation of Toll-like receptor and receptor for advanced glycation end products in preterm birth.

Noguchi T, Sado T, Naruse K, Shigetomi H, Onogi A, Haruta S, Kawaguchi R, Nagai A, Tanase Y, Yoshida S, Kitanaka T, Oi H, Kobayashi H.  
Mediators Inflamm. 2010;2010:490406.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに産婦人科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 28 年 9 月 13 日

学位審査委員長

口腔・顎顔面機能制御医学

教授 桐田 忠昭

学位審査委員

免疫学

教授 伊藤 利洋

学位審査委員(指導教員)

女性生殖器病態制御医学

教授 小林 浩